

第7章 管理指標と進行管理

第7章 管理指標と進行管理

第7章では、海老名市下水道総合計画に位置付けた下水道の施策が、計画期間内で計画通りに進捗しているかを判断するために、どのような指標を用いて判断するのか、重点施策の管理指標と進行管理について示します。

1 重点施策の管理指標

海老名市下水道の重点施策の管理指標は、海老名市下水道総合計画で掲げました各施策や事業が、計画のとおりに進められているかを判断するうえで重要な指標となります。ここでは、各重点施策における対策毎に管理指標を定め、管理指標の内容について説明します。

(1) 地震対策の管理指標

地震対策では、海老名市下水道総合地震対策計画を策定し、地震対策計画の対策内容として重要な幹線管渠^{*}における継手部分の可とう化^{*}を対策内容としたことから、これらの管理指標を次のとおりとします。

ア 海老名市下水道総合地震対策計画の策定

地震対策上の重要な施設の選定をはじめ、対策方法、対策期間等を明確にする下水道総合地震対策計画を策定します。

イ 重要な幹線管渠の継手部分の可とう化

「整備箇所数」を管理指標とし、本計画期間中の目標値に対する実施箇所数を百分率で表します。

(2) 浸水対策の管理指標

浸水対策では、雨水管渠の整備を対策内容としたことから、これらの管理指標を次のとおりとします。

ア 雨水管渠の整備

整備量として「浸水対策達成率」を管理指標とし、事業認可面積(1,513ha)に対する整備面積を百分率で表します。

(3) 生活排水処理の管理指標

生活排水処理では、対策内容として市街化区域及び市街化調整区域の汚水管渠整備と合併処理浄化槽の設置助成を対策内容としたことから、これらの管理指標を次のとおりとします。

ア 汚水管渠の整備

整備量として「下水道普及率」を管理指標とし、行政人口^{*}に対する下水道の処理開始告示区域内人口を百分率で表します。

イ 合併処理浄化槽の設置助成

下水道による整備が完了するまでの間、下水道の普及状況と下水道未整備区域における合併処理浄化槽の設置状況の指標として、「汚水処理人口普及率^{*}」を管理指標とします。

(4) 下水道資源の利活用の管理指標

下水道資源の利活用については、本計画期間中における具体的な整備内容が未定であるため、下水道資源の利活用に関する計画策定に着手することを目標とし、「計画着手」を管理指標とします。

(5) 下水道施設の長寿命化対策の管理指標

下水道施設の長寿命化対策では、予防保全的な改築・更新を対策内容としたことから、これらの管理指標を次のとおりとします。ただし、今後長寿命化計画策定により対策箇所や対策内容が精査されることから、長寿命化計画策定後において、適時本計画の管理指標を見直すこととします。

ア 管渠の長寿命化対策

「対策延長」を管理指標とし、最終目標値に対する実施済の対策延長を百分率で表します。

イ マンホールふたの長寿命化対策

「対策基数」を管理指標とし、最終目標値に対する実施済の対策基数を百分率で表します。

(6) 効率的な下水道事業の経営の管理指標

効率的な下水道事業の経営では、下水道台帳の電子化や当該管理システムのネットワーク構成の拡張を対策内容としたことから、これらの管理指標を次のとおりとします。

ア 下水道台帳の電子化とネットワーク構成の拡張

先行して整備を予定している道路台帳データの完成後に着手することから、下水道台帳の電子化にかかる「着手目標年度」と「システム完成年度」を管理指標とします。

2 重点施策の進行管理

重点施策における進行管理は、前項の管理指標を基に、毎年度チェックして公表していきます。

また、海老名市下水道総合計画は、各施策の進捗状況をはじめ、今後の社会情勢の変化、関連法令の改正、下水道を取り巻く環境の変化に対応するために、PDCAサイクル^{*}の手法を用い、適切な時期に計画内容を見直し、更新していくこととします。

具体的な目標値等については、次ページに示します。

文化的生活の確保と

○重点施策

基本方針	重点施策	目標
安全・安心のまちを支える下水道	管路施設の地震対策	海老名市下水道総合地震対策計画の策定
		地震対策の実施
	浸水対策 (時間雨量概ね 50mm に対する対策)	雨水管渠の整備
豊かな自然環境を守る下水道	生活排水処理	下水道普及率の向上
	下水道資源の利用	計画の策定
持続可能で効率的な下水道	長寿命化対策の実施	管渠の長寿命化対策
		マンホールふたの長寿命化対策
	効率的な下水道事業の経営	下水道台帳の電子化

○重点施策以外のもの

項目	内容
公共下水道事業認可変更	定期的な公共下水道事業変更認可申請の設計図書を作成
事業場排水水質調査の実施	定期的な対象事業場の汚水排水の採取・分析
雨天時等不明水対策の推進	誤接家屋調査と解消指導
流域下水道接続点水量調査	流域下水道接続点等に流量計を設置し、公共下水道の流量を測定
管路施設の維持管理	下水道施設の機能低下防止のための日常の維持管理業務

公共水域の保全に向けて

管理指標	H22 年度末 実績	目標値		備考
		H28 年度末	H33 年度末	
策定状況	0%	100%	—	H24 年度策定予定
対策量 (継手部分の可とう化箇所数)	32% (=4,370÷13,658)			目標値は海老名市下水道総合地震対策計画で明確にする
浸水対策達成率	39.9% (603ha)	41.8%	43.2%	浸水対策達成率 =整備面積÷事業認可面積(1,509ha)×100
下水道普及率	96.5% (=122.0÷126.4)	99.1%	100%	下水道普及率 =処理開始告示区域内人口÷行政人口×100
着手年度	0%	—	100%	
対策延長	1,303m	2,203m	4,703m	H28 年度～H32 年度： 調査約 5 km/年
対策基数	913 基	2,193 基	4,443 基	H28 年度～H32 年度： 450 基/年
着手年度	0%	—%	100%	道路台帳の整備後に実施
システム化完成年度	0%	—%	100%	

管理指標	H22 年度末実績	目標値 (H33 年度末)	備考
実施状況	実施済み	平成 27 年度予定	
実施状況	142 事業場で実施	毎年度の実施	
実施状況	管渠内調査延長：8,729m 補修箇所：101 箇所	毎年度の実施	
実施状況	23 地点で実施	毎年度の実施	
実施状況	日常的に実施	毎年度の実施	

